

# 平成28年度第2回渋川市総合教育会議 議事録

## I 開催日時

平成28年 8月17日(水) 午後3時開会 午後4時10分閉会

## II 開催場所

渋川市役所本庁舎大会議室

## III 出席者

【構成員】阿久津貞司市長、太田大森教育委員長、池田由美子教育委員長職務代理者、高橋秀和教育委員、新井光久教育委員、後藤晃教育長

【市長部局】田中副市長、高橋保健福祉部長、寺島行政課長、笹原企画課長、後藤スポーツ課長、内田こども課長、ほか担当職員及び事務局職員4名

【教育委員会】田中教育部長、橋爪教育総務課長、名塚学校教育課長、綿貫学校給食課長、小林文化財保護課長、石田生涯学習課長、ほか担当職員2名

【傍聴者】 6名

## IV 会議の概要

### 1 開会

企画課長	みなさんこんにちは、本日はお忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。 定刻になりましたので、ただいまから平成28年度第2回渋川市総合教育会議を開催いたします。申し遅れましたが私は、司会を務めさせていただきます企画課長の笹原と申します。よろしくお願いいたします。 はじめに、阿久津市長からごあいさつを申し上げます。
------	---

### 2 市長あいさつ

阿久津市長	— あいさつ —
企画課長	続きまして、太田教育委員長からごあいさつをお願い申し上げます。

### 3 教育委員長あいさつ

太田教育委員長	— あいさつ —
---------	----------

### 4 議題

#### (1) スポーツ関連事業移管後の取組について

企画課長	それでは、議題に入らせていただきます。 このあとの進行につきましては市長にお願いいたします。
阿久津市長	それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただきますので、よろし

阿久津市長	<p>くお願いします。          次第4の「議題」に入ります。          「議題（1）「スポーツ関連事業移管後の取組について」事務局から説明をお願いします。</p>
阿久津市長	<p>●【スポーツ課長説明】 【資料No.1】</p> <p>事務局の説明が終わりました。          今年度から、スポーツ関連事業を市長部局のスポーツ課へ移管し新体制となりました。          子どものスポーツ機会の充実や総合型スポーツクラブの設立の進捗状況など、主な取り組みの説明がありましたが、このことにつきまして、ご意見やご質問がありましたら、よろしくお願ひいたします。</p>
後藤教育長	<p>スポーツ関連事業の所管が、市長部局に移管され5か月が経過しましたが、教育委員会に関連する事業には、これまでと同様に関わりを持たせていただいておりますので、大きな変化は実感しておりません。          引き続きスポーツにおける教育的観点からの関係性、例えば、学齢期からの基礎的体力の増進をはじめ、スポーツにおける組織の規律<small>かんりょう</small>を守ることの重要性、あるいは、他者への思いやりや礼儀など、道徳性の涵養、規律ある生活習慣の定着化などについて認識しながら、必要に応じてこれからも市長部局との連携を図っていきたいと考えております。また、本市の子どもたちの体力テスト等の結果では、全国平均をやや下回っている状況にあります。反面、運動好き、スポーツ好きの子どもたちの数については、増加傾向にありますので、今後も増やす取り組みを進めていきたいと考えています。          教育意欲の向上だけでなく、道徳性の向上や心身のバランスのとれた向上心の育成を図り、ひいては、長期的展望にたって、健康寿命の延伸にもつながるように市長部局との連携を図って行きたいと考えています。</p>
スポーツ課長	<p>大変貴重な意見をいただきました。スポーツ関連については、教育的な側面を大事にしながら、スポーツの推進を図っていきたいと考えております。特に少年期を対象とした心身ともに健康となるスポーツ教室等を開催するなどしていきたいと考えております。</p>
池田委員長 職務代理者	<p>渋川市における「一市民一スポーツ」の実現に関して意見を述べさせていただきます。          このスローガンの実現に向け取り組んでいますが、スポーツに親しむことができる地域や環境づくりに取り込むこと自体が、市民の健康づくりの推進につながることをとおおいに期待しています。          今年度からスポーツ関連事業が市長部局に移管されたことによって健康づくりや地域活性化が基本ベースになり、事業推進が図られていると感じております。ベースがしっかりすることでスポーツに関連する施策の主な取組もしっかりとした方向性が明らかになるのではないかと考えます。健康づくりの推進については、先ほど教育長からお話がありましたが、健康</p>

寿命を延ばす上でも重要な鍵になると私自身考えています。

健康寿命の最大の敵は、要介護の状態になることであり、その原因の第1位が運動機能の障害と言われています。運動機能の維持においても「一市民一スポーツ」のスローガンの実現は時代にあったものであり、このスローガンの基に推進、発展させていただきたいと思います。

スポーツ課  
長

市民の健康づくりは、健康寿命を延伸することが重要と考えております。このため、多種目多世代が継続してスポーツを楽しめるスポーツクラブの立ち上げを目指しているところです。渋川市独自のスポーツ施策を前向きに考えスポーツ振興に取り組んでいきたいと考えています。

太田委員長

今お話がありました、総合型スポーツクラブの設立について発言させていただきます。

この総合型スポーツクラブは、全市民を対象としておとなも子どももスポーツに参加し、スポーツを楽しむことを目的としており、本市の掲げている「一市民一スポーツ」のスローガンを目指すものでこの市町村にもない特色ある具体的な取り組みであり、素晴らしい施策であると感じております。

スポーツ課  
長

総合型スポーツクラブにおきましては、市体育協会を中心として、スポーツレクリエーション協会等関係団体の協力を得て、競技人口の多いスポーツからそうでないスポーツまで、すべてのスポーツの教室が開催できるような夢のあるスポーツクラブに育てて行きたいと考えております。

現在、平成29年度中の設立を目指して取り組んでおりますので、改めて、総合教育会議等で経過報告等をさせていただきたいと考えております。

高橋委員

教育委員長と同様の意見になりますが、資料1の2の(1)「子どもスポーツ機会の充実」、(3)の「総合型スポーツクラブにおいて」における施策、事業の推進の中でも参加者が気軽に楽しめることを中心に考えていただきたいと思います。スポーツは得意な人ばかりではないので、趣味や健康づくりといった目的のためにやっていてよかったと思えるような総合型スポーツクラブの取り組みをお願いします。また、既存の組織との調整もよくしていただき、多くの人々が気軽にスポーツを楽しんで、心身ともに健康になれるように進めていただきたいと思いますので、よろしく申し上げます。

スポーツ課  
長

総合型スポーツクラブにつきましては、誰でもが楽しめ、運動の苦手の方においても、楽しみながら健康づくりに役立つような取り組みをしていきたいと考えています。

新井委員

私からは、資料にありましたが、スポーツで体を鍛えることは、心を鍛えることだと思えます。心を鍛えるという観点から教育的な見解にも通じていると思えます。

市長がよく言われる「教育するなら渋川市」「子育てするなら渋川市」というキャッチフレーズがあります。また、資料ではスローガンとして「一市民一スポーツ」があります。「スポーツするなら渋川市」とか「長生きす

後藤課長	<p>るなら渋川市」や「健康維持管理するなら渋川市」のようなキャッチフレーズがあれば、市民に対しても身近に感じてもらえると思いますので、そのようなことも考えていただければと思います。</p> <p>スポーツ振興の取り組みにつきましては、いただいたご意見を取り入れたうえで、「一市民スポーツ」を進めて行きたいと考えていますのでよろしくお願いたします。</p>
阿久津市長	<p>ほかにございますか。</p> <p>この総合型スポーツクラブについては、渋川市の取り組みは全国でもめずらしいやり方での取り組みになります。</p> <p>調整、準備等に時間もかかりますが、基本的には市民の健康づくりになりますので、教育委員会との連携を深め、それぞれ意見交換をしながらより良い方向に進めてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。</p>

## (2)「いじめ対策の取組について」

阿久津市長	<p>つづきまして「議題（2）「いじめ対策の取組について」に入ります。事務局の説明をお願いします。</p>
阿久津市長	<p>●【教育部長説明】 【資料No.2-1、資料2-2】</p> <p>事務局の説明が終わりました。</p> <p>教育委員会においては、いじめの問題に関して日頃からの地道な未然防止の取組や組織的な対応ができるよう体制づくりを進めていただいているとのことですが、学校では、いじめの防止対策のどのような取り組みをされているのか、ご説明いただけますか。</p>
高橋委員	<p>どの学校でもいじめ対策の基本方針を策定しております。そして、市教育委員会で策定したものは、まったく同じではありませんが、各校での対応を踏まえ各校の対策が設定されているはずです。いじめは皆無になることはありませんので、未然防止、早期発見、迅速な対応を進めていく上では、対策方針が出来ていて教職員に徹底され、さらに保護者や子どもへも伝えられていれば、効果が出てくると考えています。学校では生活アンケートを年数回実施していますので、この中で保護者からの連絡を受け、課題があれば即対応するようにしています。</p> <p>また、県教育委員会により渋川北群馬でいじめ対策について、高校生、中学生、小学生の代表が集まっていじめについて話し合う機会を設けており、本年度は、8月3日に行われました。これを受けて、資料2-2にありました「いじめ防止こども会議」を中学校区ごとに小学生、中学生の代表が集まり話し合いをもち、それを受け各学校でいじめを無くす実践に取り組んでいます。</p> <p>教育委員においては、学校訪問を行っておりますがこのときには、いじめについては必ず話題に乗せるとともに、教職員からの聞き取りを行い、</p>

具体的な指導をしております。

私が現場にいて大事だと感じていたことは、子どもや保護者の様子や小さな声に学校が耳を傾け、至急、誠実に対応することが必要だということです。

学校へものを言う場合、開かれた学校とは言いますがやはりある程度保護者も遠慮があると思いますので、校長会などでこうした対応をしっかりとするよう伝えていきたいと考えています。

学校教育課  
長

先ほど高橋委員からお話のあったいじめの防止の基本方針については、各学校ごとに策定しており、それぞれ枠組みは違いますが、4つの要素から構成されています。1つは未然防止の観点から、2つめは、早期発見、3つめは早期に対応し、子どもたちの心を癒やす観点から、4つめは、再発防止の観点から子どもたちをいじめから守っていく、あるいは対応していくこととしています。また、各校で行っている「いじめ防止子ども会議」は、児童、生徒のいじめを許さないという私情を醸成するため各中学校区ごとに開催しております。その中では、いじめ防止のスローガンの作成、今自分でできることなど小中学校の保護者が話し合い地域ごとに実施しております。

また、保護者にとって敷居の低い学校ということで、学校へは保護者からの情報を大切にすよう伝えていきます。保護者から情報を真摯に受け止め対応するかが大きな鍵となっているので、学校へのお願いや校長会において共通理解を進めているところです。

阿久津市長

家庭におけるいじめ防止の取組はどのようなことができるでしょうか。

新井委員

現役の保護者の立場として答えさせていただきます。三者の連携はもちろんです。親からできる取り組みとしては、親子の会話をつくることです。親が積極的に声かけすることが大切だと思います。また同時に、地域行事に参加し地域との関わりを通して声かけをしていけば子どもへ親の思いが伝わっていくのかなと思っています。また、いじめは、絶対だめだということを親が再認識することが大事かなと思っています。親同士の情報共有できる状況や場面をつくりながら、親同士が継続的な連携を図ることがいじめ防止につながると考えています。

学校教育課  
長

家庭でのいじめの防止は、家庭と学校の連携が重要な要素になっています。学校から家庭へのお願いとして、親子の会話を大切にし、異変があったら学校へ伝えるようお願いしています。いじめの早期発見では、アンケートのほか家庭からの訴えは非常に多くなっていますので、家庭の中で話し合っ共有していくことは非常に重要だと考えています。学校側も保護者の意見を真摯に受け止め対応していくよう臨んでいます。

阿久津市長

最近ではインターネットによるいじめの問題があるようですがどうでしょうか。

池田委員長  
職務代理者

最近ではいじめの内容も変わってきており、インターネットによるいじめも最近多くなっていると思います。先ほどの資料にありましたが渋川市

においては、ネットによるいじめは確認はされていない状況ですが、スマートフォンの所有では小学生で3人に1人、中学生では2人に1人がスマートフォンを持っているようです。子どもたちはネットにアクセスする生活スタイルが定着し、低年齢化もしていると思います。SNSやラインも急速に普及しており、その手軽さが落とし穴となり、重大な事件が起きていますので考えて行かなければならないと思います。今後はネットによるいじめは益々深刻化して行くとも思います。

しかし、ネット上のことですが、ネット上では解決することができないと思います。やはり対面、話し合いで進めることが必要と考えています。

ただ、ネットを通して友だちからのSOSもあると思うので、そのようなことがあったときには、大人に相談するようになどの指導も必要ですので、学校と保護者の両方でネットの利用について子どもたちへ理解させていくことが大事だと思います。

群馬県の少子化対策・青少年課では、「おぜのかみさま」という青少年のネット被害防止の取り組みをしているようです。学校においてもチラシが配布されるなど、子どもたちもだんだんとネットに対しての意識が改善されていくと見通しもあります。もっと機会を多くして普及していきたいと思います。これからはインターネットによるいじめも多くなってくると思いますし、そのようないじめの課題を含めて取り組んで行かなければと思っています。

生涯学習課  
長

先ほどお話にありました「おぜのかみさま」について説明します。これは、群馬県においての取り組みでインターネットを安心安全に使うための標語です。

「お」は自分の写真を送らないということです。ネット上で写真を載せると削除することができないためです。「ぜ」はインターネットで知り合った人に絶対に会わないというものです。「の」は個人情報を書き込まない。名前や住所など個人情報を載せないということです。「か」は悪口を書き込まない。「み」は有害サイトを見ない。「さ」は出会いを探さない。「ま」はルールを守る。これは家庭における遊ぶ時間や料金など家族で決めたルールを守るといった内容です。

この「おぜのかみさま」運動については、青少年センター、青少年健全育成推進委員145人の方と夏休みに入る前に市内全中学校、4つの高等学校や市内の大型店舗などでチラシや広報ティッシュなどを配布しています。また、青少年センターでは、中高生の悩みごと相談を電話やメールで受け付けをしています。家庭と地域と学校で全体で安全安心で子供たちが健やかに成長できる環境をつくることが必要と考えており、今後も健全育成に取り組んでいきますのでよろしくお願いたします。

阿久津市長

最近では、貧困家庭が話題になりますが、これはいじめにつながるのか心配していますがどうでしょうか。

太田委員長

貧困対策については、教育委員会ではなく市長部局で取り組んでいるところが多いと思います。これについては大きな問題になると思いますので、総合教育会議においても議題として取上げ協議したいと思います。

阿久津市長

それでは総合教育会議でも協議をお願いしたい思います。心配しているのは、経済が発展し、先進国はどこでも格差社会の問題が出てきているのが現状ですので、この問題は避けては通れないと思っています。

渋川市は、給食費の無料化に取り組んでおりますが、貧困が子供たちのいじめに発展しなければいいなと思っています。いちばん心配しているのは、子供たちの食事の問題で、ほかの自治体では休日に貧困家庭の子供たちへ1食100円とか無料で食事を提供していると伺っています。市として何らかのかたちにするにも、まずはどの程度貧困家庭の子どもがいるかなどの詳細な調査が必要ですので、このことを含めて検討していきたいと考えています。

ほかに何かありますか。

太田委員長

私からいじめ対策の方針についてですが、先ほど田中教育部長から説明がありましたが、子どもに関わる気になることを見逃さない、ということ、そしてもう一つが、子どもたちが様々な活動の中で満足感を得られるように大人の関わりを考える、という2つの項目があります。市は昨年度6つの方針からなる教育振興大綱を策定しました。この6つの方針の中に「第4に他者の痛みがわかる思いやりと優しさに満ちたひと」がありますので、これを受けてこの2つの項目があげられております。これは、子どもたちの自己実現に大人が関わり、子どもの自己実現がかなえば、いじめも減ると思います。それから、他人を思いやる暖かさが感じられる環境づくり、いわゆる人権教育の日常化がこの方針の中に含まれていると思っています。以上です。

阿久津市長

ありがとうございました。

教育委員会では人権問題も取り組んでいただいておりますので、いろんな角度から取り組むことが重要ですのでよろしくお願いします。

いじめ対策の取組は、未然に防止すること、早期発見し対応することが大変重要と思っておりますので、今後、いじめ問題があればいじめ問題対策協議会など関係機関が連携して取り組んでいきますのでよろしくお願いします。

ほかにありますか。

後藤教育長

資料2の2について具体的な取組が記載されていますが、教育委員会事務局として、学校も含めましてこれに取り組む姿勢についてお話をさせていただきます。

いじめ問題が大きく取り上げられたのは、1980年代の30年以上前からだと思います。いじめの内容は変わってきていますが、いじめによる最悪の事態は相変わらず起こってしまっているようです。本市においも小さいいじめの事例は報告されています。毎月1回定例校長会が開催されていますが、そこでのいじめの問題について協議がされていますが、非常に対応が早いと感じています。いじめに対しては、様子を見るのではなく早く手を付けることを各校長にお願いして行きたいと思っています。また、知育、徳育、体育の充実、向上が学校教育の中で語られますが、大前提として子どもの安全確保が最優先です、といつもお願いをしております。

それから、過去に大きないじめの事件が起きていますが、この要因につ

いては、既に調査研究されております。これを分析して同じようなことが  
渋川市で起こらないように徹底することが必要と考えています。その中  
の傾向で、家族内会話が無かったところで大きな事件が起きているよう  
ですので、重視していかなければならないと思っています。

また、太田委員長が言われた人権教育ですが、自己肯定感を育むこと  
ですが、具体的にどのようにすれば自己肯定感が生まれるか考えてお  
りまして、地域の行事に積極的に参加することが、自分でもできると子  
どもたちに充実感を味わってもらうことが重要と思っています。

学校の今年度の予算では、あじさいプランティーチャーとして統廃合  
のあった学校等に非常勤の講師を配置していただきましたが、教師の  
多忙感の解消と同時に子どもたちと向き合う時間を質的、量的に確保  
していただいた予算であります。このような教師の側のゆとりも必要  
だと思います。その上で、子どもたちの小さな変化に気付くことので  
きる取り組みを図って行きたいと考えていますのでよろしくお願いいたします。

阿久津市長

ありがとうございました。

先ほどの教育委員さんのお話でも、いじめというものは無くならない、  
ということのようです。いじめはあることを前提に早期発見、未然に防  
ぐことが基本かなと思っています。

是非、これからも皆さんのご協力をいただきながら、子どもたちがい  
じめに遭わないようしっかりした対応していきたいと思っておりますので  
よろしくお願いいたします。

そのほかありますか。

ないようですので以上をもちまして、本日の協議事項については、全  
て終了いたしました。

これで議長の座を降ろさせていただきます。

ご協力ありがとうございました。

## 7 閉 会

企画課長

以上をもちまして、平成28年度第2回渋川市総合教育会議を閉会とさ  
せていただきます。

長時間にわたり、熱心にご審議いただきありがとうございました。